

【1】全体評価

個別評価においては、「顧客本位」の取組や経営基盤確立の推進は概ね計画どおり実施されている。また、県政（地域）への「貢献」は良好な実施状況である。ただし、「安全・安心」の施設管理については電気事業の経年施設の適切な修繕・改良工事や工業用水道事業の地震・津波対策が若干計画どおりには実施されていない。

全体評価としては、電気事業においては企業局として初めて60年経過している発電所のリニューアルとして大野川発電所（売電単価24円/kWh）の建設に目途をつけており、工業用水道事業では給水ネットワーク再構築をローコストで平成28年度末までに竣工させるべく工事等を着々と進めている。また、業績面は計画目標の純利益533百万円（電気事業・工業用水道事業の合計）を超える純利益が予定されている。

以上により大分県企業局の26年度の事業は、平成28年4月1日以降の電力システム改革により卸規制の撤廃（総括原価方式の廃止）により売電単価の変動等の課題は残るが、全体として上記のとおり十分に評価に値する。

【2】個別評価

大項目	内部評価			外部評価			コメント
	S	A	B	S	A	B	
小項目				I	II	III	「S」：項目全てがII以上で、かつIが1項目以上 「A」：IIIが1項目以内 「B」：IIIが2項目以上 「I」：良好な実施状況にある 「II」：概ね年度計画通り実施している 「III」：計画までの実施ができなかった
1 「安全・安心」の施設管理				S	A	Ⓐ	
(1) 電気事業							
①地震対策の計画的実施							
【目標指標】 既存施設 建物・水管橋の耐震化率 81% 水路工作物の耐震照査率 15%	(P1)	I	Ⓐ	III	I	Ⓐ	III
②大野川発電所リニューアルに向けた準備							
【目標指標】 抽出項目への着手率 20%	(P2)	Ⓐ	I	III	Ⓐ	I	III
③発電所のオーバーホール工事							
【目標指標】 オバーホール工事実施件数 1件	(P3)	I	Ⓐ	III	I	Ⓐ	III
④その他、経年施設の適切な修繕・改良工事							
・送電線鉄塔改良工事	(P4)	I	I	Ⓐ	I	I	Ⓐ
(2) 工業用水道事業							
①地震（津波）対策の計画的実施							
【目標指標】 耐震化率累計 12%	(P5)	I	I	Ⓐ	I	I	Ⓐ
②給水ネットワーク再構築事業の完成							
【目標指標】 完成する施設割合 0%	(P7)	Ⓐ	I	III	Ⓐ	I	III
③その他、経年施設の適切な修繕・改良工事							
※H26実施計画なし	(P9)						
(3) 共通							
①点検基準の見直し							
【目標指標】 精査した点検基準 50%	(P10)	I	I	Ⓐ	I	I	Ⓐ
②人材の育成（技術の継承） (i) 職員研修の充実							
【目標指標】 技術職員の研修受講数 (技術専門研修) 5.0回/年	(P11)	Ⓐ	I	III	Ⓐ	I	III
②人材の育成（技術の継承） (ii) 経営的視点を持つ技術職員の育成							
【目標指標】 総務課配置の技術職員数 2名	(P12)	I	Ⓐ	III	I	Ⓐ	III

		内部評価	外部評価			コメント		
2 「顧客本位」の取組			S	(A)	B			
(1) 電気事業								
①安定した電力の供給	(P13)	I	II	III	I	II	III	
【目標指標】 事故・作業停電電力量削減率 (過去10年平均比較) ▲5%								
②九州電力との定期的意見交換	(P13)	(I)	II	III	(I)	II	III	
【目標指標】 九州電力との意見交換回数 1回								
(2) 工業用水道事業								
①安定した工業用水の供給	(P14)	I	(II)	III	I	(II)	III	
【目標指標】 ユーザー要求量に対する給水率 100%								
②さらなる濁水対策の調査・研究	(P15)	I	(II)	III	I	(II)	III	
【目標指標】 給水条例基準濁度での供給 100%								
③ユーザー懇談会の充実とユーザーへの定期訪問	(P16)	I	(II)	III	I	(II)	III	
【目標指標】 ユーザー懇談会開催回数 2回 現地案内会開催回数 1回 ユーザー訪問数(局長) 19社								
④商工労働部と連携した新規顧客開拓		(P17)	I	(II)	III	I	(II)	III
【目標指標】 新規申込件数 1件								

		内部評価	外部評価			コメント		
3 県政(地域)への「貢献」			S	(A)	B			
(3) 共通								
①一般会計への繰り出し	(P19)	I	(II)	III	I	(II)	III	
【目標指標】 一般会計への繰り出し(電気) 50百万円 一般会計への繰り出し(工水) 100百万円								
②環境保全活動等への助成・検討	(P19)	(I)	II	III	I	(II)	III	
【目標指標】 助成対象の植林(間伐)面積50ha 交流事業の回数 2回								

		内部評価	外部評価			コメント		
IV 経営基盤確立の推進			S	(A)	B			
2 アセットマネジメントによる計画的施設補修と費用の平準化								
【目標指標】 データ更新率 20%	(P23)	(I)	II	III	(I)	II	III	
3 コストダウン推進委員会による経費削減等に向けた検証								
【目標指標】 建設改良費の削減率 5% 遊休資産の活用率 30%	(P23)	(I)	II	III	I	(II)	III	遊休資産の売却について十分な対応がとれていない。
4 既存施設の活用等による再生可能エネルギー拡大の取組								
・芹川ダム維持流量発電所実施可否 の検討	(P25)	I	(II)	III	I	II	(III)	実施が不可能なため(他の前向きな取組はないか)
5 計画の進捗管理と自己評価								
【目標指標】 30回	(P26)	I	II	(III)	I	(II)	III	目標指標30回が多すぎると考えられ、おおむね計画どおりである。

※ページ番号は別冊「大分県企業局第3期中期経営計画 実施計画及び実施結果」のページに対応